

平成23年2月から

# 『関川健康コホート調査』が始まります

～村上・関川・栗島総合健康プロジェクト～

新潟大学、新潟医療福祉大学、国立がん研究センターのプロジェクトチームは、病気の予防を目的とした情報収集のため、三市村における健康コホート調査（長期間にわたる健康調査）を実施します。  
これに合わせて村では、平成二十三年二月に、生活習慣に関する基礎アンケートを実施し、その後二十一年間にわたり、皆さんの健康状態や病気を追跡調査します。対象者は、平成二十三年一月一日現在で四十～七十四歳の方です。皆さんのご協力をお願いします。

「村上・関川・栗島総合健康プロジェクト」って何？

病気の予防を目的として、中高年の皆さんを対象に行う大規模な健康調査のことです。この調査から得られる貴重な健康情報を、地域全体で共有し、生活習慣病や介護予防に役立てようとする息の長い健康推進プロジェクトです。

何のために調査をするの？

テレビや雑誌で見る健康情報は、一見正しそうなものか

らそうでないものまでいろいろあります。科学的に確かな健康情報を得てから病気の予防を考えることが最も重要です。

調査の目的は、健康調査から得られる科学的な健康情報をもとに、この地区の皆さんがどうすれば生活習慣病を予防できるかを明らかにすることと、ビタミンDの生活習慣病予防効果を確かめることです。ビタミンDは鮭などの魚に多く含まれ（図1）、骨粗しょう症、大腸がん、糖尿病の予防効果が期待されています。

いつ・何を調査するの？

平成二十三年二月に生活習慣に関する基礎アンケート調査を実施します。

健康状態、喫煙・飲酒、食生活、運動などの生活習慣について質問します。

平成二十三年春に身体（血液）検査などを実施します。

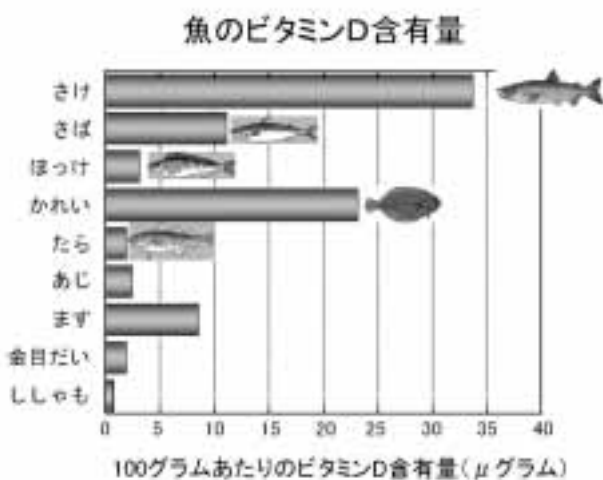
特定健診や職場の定期健康診断などを受ける方、医療機関を受診する方のうち、同意を得た方の健診結果を提供していただきます。

また、通常の血液検査に加え、ビタミンDを検査します。一部の血液は凍結保存し、将来、病気になる人とならない人で何が違うかを比較する検査も行います。

平成二十三年から二十一年間、病気の原因などについて調査します。

アンケート調査後、脳卒中・がん・心臓病・骨粗しょう症・関節症などの生活習慣病になったかどうかを医療機関で調べます。病気になった人とならなかつた人で、何が違っていたのかを調べ、病気の原因を探ります。

図 1



## 対象者は誰ですか？

対象者は、平成二十三年一月一日現在で、四十〜七十四歳の村民の皆さんです。調査への参加は任意ですが、できるだけ大勢のご協力をお願いします。

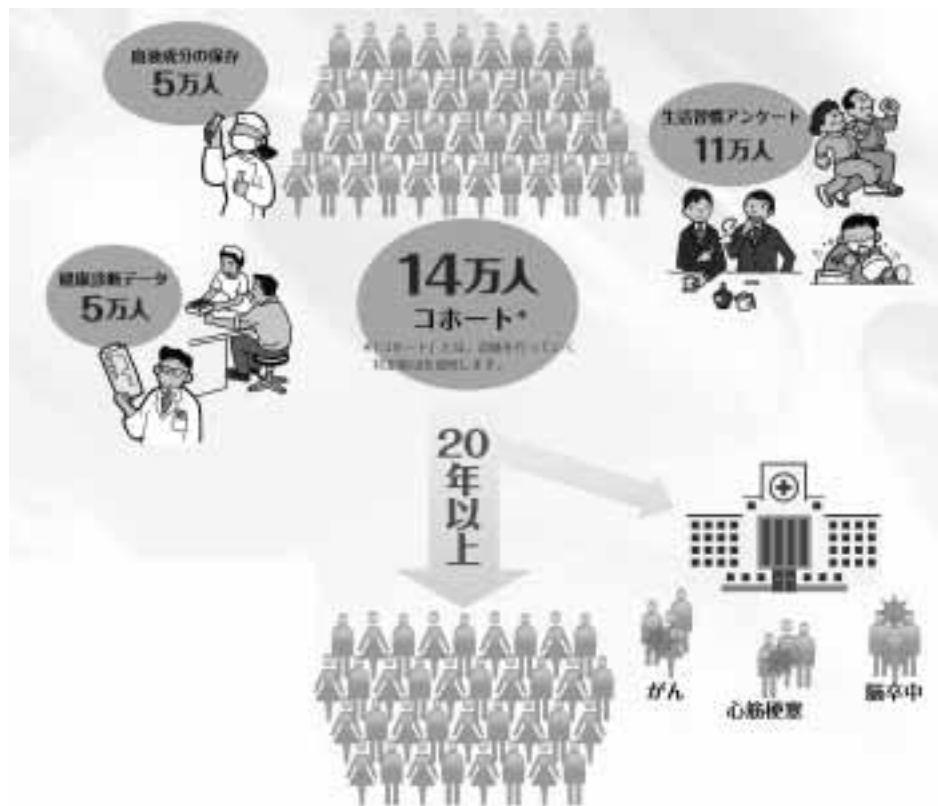
なお、「関川健康コホート調査」は、国立がん研究センターの実施する全国健康コホート調査「多目的コホート調査」の一つとなります。村民の生活習慣や健康状態を他の調査参加地区と比較することもできます。

## 個人情報保護は確保されますか？

健康調査では、参加者の個人情報を厳重に管理します。アンケート調査票に記入していただいた内容は、個人名が特定されないようにすべて統計的に処理をして、それ以外に使用することはありませんので、ご安心ください。  
（責任者 新潟大学大学院 准教授 中村和利）

## 参加する利点は何ですか？

参加者の皆さんには、参加者個人の食事調査結果（栄養摂取量）と血液中のビタミンDの検査結果をお知らせするほか、健康コホート調査から得られる最新の研究成果を定期的に送付します。  
また、プロジェクトチームの研究者が毎年村を訪れ、最先端の研究成果などをお話ししますので、ぜひ参加をお願いします。



## もう少し詳しく知るには？

新潟大学のホームページをご覧ください。「村上・関川・粟島総合健康プロジェクト」の詳しい情報が得られます。

<http://www.med.niigata-u.ac.jp/hyg/sake.pdf>

コホート調査に関する問い合わせ先

住民福祉課健康介護班  
☎ 六四 一四七二

生活習慣病の予防につながる  
大切な調査です。  
ご協力をお願いします。



中村和利 / 新潟大学大学院准教授

### 経歴等

1988年 新潟大学医学部医学科卒業  
1988年 福島県立医科大学助手  
1996年 新潟大学医学部助手  
2007年 新潟大学大学院医歯学総合研究科（地域予防医学）准教授  
専門：予防医学、公衆衛生学